

ARCH

SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

14

2026.04



病院長就任のご挨拶

このたび、開院から3年目を迎える節目にあたり、病院長を拝命させていただくことになりました。当院では、各分野の専門的な医療を提供するとともに、急な病気やけがでお困りの際に、まず受け止める医療として、年間6,500台を超える救急車の受け入れなど、「断らない救急」を大切にまいりました。これは、すべての診療をいつでも行う「断らない診療」とは異なり、命に関わる可能性のある方など、緊急性の高い方を優先して対応する救急医療としての捉え方です。そのため、症状や重症度によっては、お待ちいただく場合や、他の医療機関をご案内することもあります。いずれの場合も安全を第一に判断しております。

また当院は、すべての治療を一つの病院で完結させるのではなく、より高度な専門治療が必要な場合には専門病院と連携し、病気によっては地域密着病院と連携し、適切につなぐ役割も担っています。一方、そういった忙しく慌ただしい医療の現場だからこそ、説明の分かりやすさや対応の丁寧さが、今以上に求められているとも感じております。まだ、行き届かない点や課題も多くありますが、これからも住民のみなさまの立場に立ち、開院からの使命である、「県央地域の患者は県央で診る」を、今ある人員で可能な限り実現できるよう、職員一同努力を重ねてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

済生会新潟県央基幹病院 病院長

岩 渕 洋 一 IWA FUCHI YOICHI



済生会新潟県央基幹病院の 「これまで」と「これから」

2026年3月に開院から3年目を迎えた
済生会新潟県央基幹病院。

岩渕病院長と宮北副病院長・二瓶副病院長に、
これまでの課題と今後の展望を伺いました。

●開院から3年目に突入しました。
新体制として目指すことを教えてください。

【岩渕】当院は県立燕労災病院と厚生連三条総合病院が統合し、2024年3月にスタートしました。この2年間は職員みんなで相談を重ね、「コミュニケーションを図りながら何とかがんばってきたというのが実感です。また、当院は「断らない救急」を掲げていますが、人員や医療の質もまだまだ足りない中、職員は力を尽くしてくれています。今後は地域のみなさんの信頼を得るためにも、一人一人の患者さんに、より丁寧に対応していきたい。そして、救急に限らず、さまざまな専門分野の医療の質を上げていく必要があると考えています。

【宮北】当院は統合前の2つの病院と比べて規模が大きいので、この病院の機能を充分発揮していくためには、各セクションの繋がりをもっと深めていく必要があると感じています。救急に関しては、当院の今の実力からすると若干課題もありますが、がんばっていると思いますし、救急患者の受け入れという入口の整備だけでなく、近隣の病院との連携も試行錯誤しながら、出口の整備もさらに進めていきたいと思っています。

【二瓶】開院から丸2年経ったことで、医師や職員が県央基幹病院の一員として一つの方向を向くようになってきたと思います。また、当院に行けば何でも診てくれると思っている方もいるかもしれませんが、それに対応するためにはもっと人材を集める必要があります。そして経営面の改善に向けて、例えば「地域がん診療拠点病院」という専門的な特徴を目指したり、ISOの品質評価を受けるなど、病院の付加価値を高めていくことも必要です。

【岩渕】今、ISO9001の取得に向けた取り組みを進めているところです。医療に関する一つ一つの手順などを見直し、済生会新潟県央基幹病院の新しいスタイルを作っていきたいと思っています。

●宮北先生は「救急・集中治療・災害調整管理部門」、
二瓶先生は「人材育成開発部門」の部門長を兼任されていますね。

【宮北】救急の重要な役割は、最初の治療、診療を行い、専門の科に繋げていくことなので、まずは救急担当の医師の力をアップしていくこと、連携をスムーズにしていくことを進めていきたいと思っています。また、当院は災害拠点病院という役割もあり、DMAT（災害派遣医療チーム）という専門スタッフがいるので、災害が起きたときにしっかりと加勢できるように手順を整えているところです。

【二瓶】医師以外の職員に関しては、段階を踏んでスキルのレベルアップを図る人材育成の整備を進めています。また、今は専門分野のスペシャリストである専門看護師の確保が困難な状況なので、どのように確保していくか話し合いを重ねていきたいと思っています。

●「こんな病院にしていきたい」という目標や、
地域連携で取り組んでいきたいことがあれば教えてください。

【岩渕】まずは済生会の病院として「施薬救療の精神」という済生会の理念を基に、これからも進んでいきたいと思っています。その上で、地域のみなさんが望んでいる声を聞きながら、医療や人材など含めて病院全体の質を上げていく。そして、職員が働きやすい職場にしていこう。そのためには経営的基盤を整える。この3つを基盤に取り組んでいきたいと思っています。

【二瓶】患者さんが「あの病院にかかりたい」、「地元のみなさんが「あの病院で働きたい」という病院を目指していくことが一番です。もう一つは、近隣の病院や開業医の先生方とさらに強い繋がりを持って、顔が見える診療体制を整えていきたい。知った顔同士であれば、困ったことがあってもお互いに頼みやすいですね。そういう顔の見える環境づくりを目指し、医師だけでなく看護系の職員などとも、しっかりと繋がっていききたいと考えています。

【宮北】お二人が言われた通り、職員にとつていい病院になることが非常に大事だと思います。そして近隣の患者さんからは「ここで診てほしい」、近隣の先生方からは「ここに紹介したい」と言っていただける存在になっていきたいです。

【岩渕】もう一つ、当院は教育的な面にも力を入れていて、第二期生が加わり臨床研修医も約20人となります。今後は「県央基幹病院ではこんな研究ができる」「こんな臨床ができる」ということを県内外にとどまらず、海外にむけてもアピールしていくことも大事で、それによって個々の能力も上がり人材も集まってくるのではないかと期待しています。

副病院長

二瓶 幸栄

NIHEI KOUEI

副病院長

宮北 靖

MIYAKITA YASUSHI

病院長

岩渕 洋一

IWAFUCHI YOICHI



看護部 手術室勤務

深井 未来 FUKAI MIKU

手術室では、消化器外科、整形外科、外傷再建外科、産婦人科、眼科、歯科口腔外科、形成外科、内科、脳神経外科などの手術があり、4月からは耳鼻咽喉・頭頸部外科が加わります。幅広い分野に関わることで専門的な知識

●この仕事のやりがいや特徴を教えてください。

小さい頃に入院した経験があります。子どもの頃の入院は不安なことばかりでしたが、そのときに寄り添ってくださった看護師さんの姿をみて、私もこんな看護師になりたいと思い、この仕事を選びました。

●この仕事を選ばれたきっかけ、経緯を教えてください。

手術室は手術を必要とする患者さんが安全に手術を受けられるよう支える専門部署です。手術前には器械や物品を準備し、清潔な環境を整えます。手術中は、「器械出し看護師」が医師へ器械を渡しスムーズに手術が行なわれるよう介助します。「外回り看護師」は術前から術後まで、全身状態や安全を管理します。その他に、麻酔科医と術前外来を行い、手術に対する不安を少しでも軽減できるように支援しています。また手術が安全に受けられるよう、他職種と連携しながら業務にあたっています。

●ご職種の普段の業務について、具体的に教えてください。

知識、技術を学ぶことができ、日々成長を実感しています。予定手術や緊急手術などもあり忙しいですが、一つの手術を経験することの達成感や、患者さんから「ありがとう」「無事に手術が終わってよかった」と伝えていただけたときは、手術室看護師になってよかったとやりがいを感じます。

●将来の目指す姿や目標はありますか？

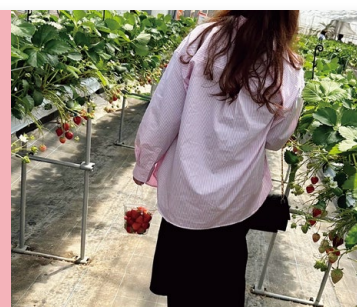
患者さんが安心して手術を受けていただけるような声かけや関わりを心がけています。声かけや関わり方も難しいことがありますが、患者さん一人一人に寄り添い、安心していただけるような関わり方を続けていきたいと思っています。毎日経験を積みながら、相談してもらえ、任せてもらえる看護師になれるよう頑張ります。



「深井さんのお気に入り」

休みの日は買い物や旅行するのが好きです。

FAVORITE



済生会新潟県央基幹病院の各部門について、その役割や日々の業務をご紹介します。

県央TEAMS

放射線部



【放射線のスペシャリスト】

放射線部は、放射線科医・診療放射線技師・看護師が協力しあって、放射線を専門に扱う部門です。具体的には、CT・一般撮影装置・MRIなどの装置を使って、体内を可視化して、診療を支える「画像診断」、高エネルギーの放射線ががん細胞を死滅させる「放射線治療」、エックス線透視画像で体内を確認しながら、造影剤を使って血管内治療を行う「IVR」が主な業務です。被ばくを最小限に抑えながら、様々な装置を使用して検査や治療をしています。生まれてからの赤ちゃんから高齢者まで、全診療科に通うすべての方に検査や治療を行っています。放射線部は、救急外来に隣接しており、一刻を争う重症患者さんに対しても、素早く安全に画像検査を行い、診察をサポートしています。また、緊急を必要とする止血の治療や心臓の血管を広げる治療

などを提供できる体制も整えていて、24時間体制で地域の救急医療を支える現場の一つです。

【骨の変化には気をつけて】

皆様に気をつけていただきたい病気は「骨粗しょう症」です。骨粗しょう症は、痛みがないまま進行し、気づいた時には骨がスカスカになって、いつの間にか骨折を引き起こすことがあります。それが原因で寝たきりになるケースも少なくありません。骨粗しょう症の予防には、適度な運動と栄養バランスの摂れた食事、日光浴で骨を強くすることが大切です。放射線部では、「骨塩定量測定装置」のベッドに数分間横になるだけで、「骨の強さ」を測ることができます。

〈地域に向けてメッセージ〉

私たちは、放射線を使って病気や怪我を見つけたり、放射線でがんを治したりするスペシャリストです。放射線って少し怖いイメージがあるかもしれませんが、私たちが安全にコントロールしていますので、安心して検査や治療を受けてください。



今知りたい

Q & A

放射線部 Q & A

Q CTとMRIの違いは何ですか？

A CTはエックス線を用いて、短時間で広範囲を撮影します。MRIは磁気と電波を使って、腰や膝などを時間をかけて撮像します。

Q なぜ、胸部の写真を撮る時に、息を吸って止めるのでしょうか？

A 肺を大きく膨らませて、心臓や血管を見やすくするためです。息を止めることで、写真がボケることを防ぎます。



登録医のご紹介



江口眼科医院（燕市）

〈院長〉江口 功一 様



● 地域にとってどんなクリニックを目指していますか？
2025年4月から諸事情により白内障手術を終了しました。眼瞼下垂、眼瞼内反症などの眼瞼疾患や翼状片などの外眼手術はしばらく継続の予定です。それ以外は県央基幹病院にお願いしています。紹介患者が多く病院の負担になっているとは思いますが、これからもよろしく願っています。手術後の経過観察は、当院で行えるものは全て引き受けるつもりです。65歳を過ぎて新しいことは難しいですが、次世代につながる眼科診療をできる限り続けていければと思っています。

● 日々の生活の中で、気を付けた方がよい症状はありますか？
旧燕地区で唯一の眼科診療所ですので、あらゆる患者さんが受診されます。燕市の特徴としては角膜に金属が刺さる（角膜異物）の方が多いです。時間がたつと視機能が戻らないこともあるので、何か眼に入ったと思ったらなるべく早めに受診することをお勧めします。また無自覚の緑内障も多く、受診時点で失明寸前という方も多いです。特定検診などで「視神経乳頭陥凹拡大」とかかれていたら「緑内障疑い」ということです。必ず眼科を受診してください。

● 不要な診療はしない、不要な薬剤は出さない。そのため、なにより丁寧な説明を心掛けているつもりです。忙しい時はなかなか難しいですが、大切にしています。スタッフの数などの体制も含め、なるべく余裕をもって落ち着いた診療を目指しています。

● 日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？
不要な診療はしない、不要な薬剤は出さない。そのため、なにより丁寧な説明を心掛けているつもりです。忙しい時はなかなか難しいですが、大切にしています。スタッフの数などの体制も含め、なるべく余裕をもって落ち着いた診療を目指しています。

● まず、御クリニックについて教えてください。
1986年新潟大学医学部卒業、2004年新潟大学大学院修了、その後県内外の病院で医長として勤務後、1997年より新潟大学医学部眼科講座助手として眼腫瘍・眼形成・眼病理のチーフとして働いていました。もともと燕市の生まれで、父が酒類小売店を営んでいた土地をもらい受け、2005年4月に開業しました。専門分野は眼腫瘍・眼形成です。

● 日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？
不要な診療はしない、不要な薬剤は出さない。そのため、なにより丁寧な説明を心掛けているつもりです。忙しい時はなかなか難しいですが、大切にしています。スタッフの数などの体制も含め、なるべく余裕をもって落ち着いた診療を目指しています。

● 日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？
不要な診療はしない、不要な薬剤は出さない。そのため、なにより丁寧な説明を心掛けているつもりです。忙しい時はなかなか難しいですが、大切にしています。スタッフの数などの体制も含め、なるべく余裕をもって落ち着いた診療を目指しています。



江口眼科医院【眼科】

〒959-1251 新潟県燕市白山町2丁目4番23号
受付時間／午前9:00～12:00 午後15:00～18:00(手術 火曜13:30～15:00)
TEL／0256-61-7766
アクセス／JR燕駅から徒歩5分
休日／水曜・土曜の午後・日曜・祝日(夏季・年末年始休診あり)
HP／www.eguchi-ganka.com



	受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	●	●		●	●	●	
午後	15:00～18:00	●	●		●	●		
手術	13:30～15:00		●					

VOICE Q&A

ご利用者の皆さんからいただいたご意見・ご質問にお答えします。

Q1 紹介状がないと、 どうして選定療養費がかかるのですか？

大きな病院は、専門的な治療が必要な患者さんを診る役割があります。紹介状なしで誰でも受診できると、軽い症状の人まで集中してしまい、本当に必要な人が診てもらえなくなるかもしれません。そこで、紹介状がない場合は選定療養費をいただくことで、病院の役割分担を促し、より適切な医療を受けられるようにしています。

Q2 紹介状がないと、診てもらえないの？

紹介状を持っていない患者さんには、原則としてかかりつけ医からの紹介状をもらってからの受診をお願いしています。紹介状がない場合、患者さんの状態を把握するまでに時間がかかったり、同じ質問や検査を再度行う必要が出てくることもあります。また、たとえ紹介状なしで受診ができた場合も選定療養費が発生することを、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

Q3 マイナ保険証で、自分の医療情報が勝手に誰かに見られることはありませんか？

ご安心ください。医療機関の窓口で、あなたが同意した場合に限り、医師や薬剤師があなたの医療情報を確認できます。勝手に情報が见られることはありません。

Q4 マイナンバーカードを病院に預けるのが不安です。

マイナ保険証は、顔認証または暗証番号で本人確認を行うため、カードを預ける必要はありません。ご自身で機械を操作して確認を行います。

受診される患者さんへ 紹介状なしで受診した場合の 自己負担額について

紹介受診重点医療機関（※）である当院は、紹介状をお持ちではない場合、診療料とは別に以下の徴収が義務づけられています。

医科 初診時選定療養費

紹介状を持たずに当院の医科を初診で受診した場合

7,700円 (税込み)

歯科 初診時選定療養費

紹介状を持たずに当院の歯科を初診で受診した場合

5,500円 (税込み)

徴収の対象とならない場合
・診療に引き続き入院となった場合
・国の公費負担医療制度の受給者の方

紹介受診重点医療機関（※）

紹介受診重点医療機関である当院は、急性期や専門の治療が必要な方を集中的に診療することが役割となっており、外来については紹介患者の診療を基本としております。



みなさまのご理解とご協力をお願いいたします

済生会新潟県央基幹病院

済生会新潟県央基幹病院はご利用者の皆さまの声に対応しております。

済生会新潟県央基幹病院では、いただいたご意見をもとに、皆さまにより快くご利用いただける病院を目指し、日々改善を続けて参ります。お気づきの点がございましたら、1階エスカレーター前に設置されておりますご意見箱に、皆さまの声をご投函ください。よろしくお願いいたします。



SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

01 REPORT

4月1日から耳鼻咽喉・頭頸部外科が常勤体制になります



今まで当院の耳鼻咽喉・頭頸部外科には常勤医師がおらず、他院の医師が外来診療を行っておりましたが、この度、4月1日から2名の常勤医師が新たに勤務する体制となりました。診察は「高野哲先生」と「鈴木憧夢先生」が担当します。

分野に対応し、それぞれの専門性を生かした診療を行います。常勤医師が複数の短縮や継続的で安定した医療提供が可能となり、よりきめ細やかな対応が実現します。今後も地域の皆さまに安心して受診していただける耳鼻咽喉・頭頸部外科を目指し、スタッフ一同努めてまいります。

02 NEWS

「ストレス」をテーマにしたイベントを開催しました



3月11日、無印良品 燕店にて「ストレス」をテーマにしたイベントを開催しました。リラクセスできるモノやコトを体験いただく内容で、産婦人科外来で行っているハンドマッサージや、理学療法士によるリラクセスストレッチ講座などを実施。店舗で購入できるオイルを使用したハンドマッサージは、来場者の皆様に大変ご好評いただきました。平日の開催にもかかわらず、

2時間で約20名の方にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。当院では、社会貢献事業の一環として、定期的に無印良品 燕店でイベントを開催しています。イベント情報はホームページやSNSで公開していますので、ぜひご確認ください。



済生会の「無料低額診療事業」のご案内

当院では社会福祉法に基づき、医療費の軽減・減免を行っております。療養生活において経済的な事情がございましたら、お気軽に患者サポートセンター(2階)窓口にお声掛けください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

【お問合せ】患者サポートセンター

TEL.0256-47-4700 (代表)

からだにおいしい

旬の食材

春の訪れとともに甘さを増す、旬のいちご。そんな、今だからこそ味わいたい栄養とおいしさをご紹介します。

いちご

多くの品種があり、全国では「とちおとめ」や「あまおう」など広く流通しています。その中で新潟県で親しまれているのが「越後姫」です。越後姫は果肉がやわらかく、甘みが強いのが特徴で完熟された状態で出荷されます。傷みやすいため、主に県内で消費され、まさに地産で味わう旬の苺です。

「いちご」について

【食物繊維】いちごに含まれる水溶性食物繊維のペクチンは、腸内環境を整え、便秘の改善に役立ちます。腸内の善玉菌のエサとなり、腸の働きを穏やかにサポートします。

【葉酸】葉酸は赤血球の形成を助ける栄養素で、貧血予防に欠かせません。また、細胞の生まれ変わりを支え、成長や回復に関与します。新年度が始まる春の生活リズムは変わりやすく、体調を整えるためにも意識したい栄養素です。

【ビタミンC】いちごは果物の中でもビタミンCが豊富で数粒で1日に必要な量を補えます。免疫力の維持や皮膚・粘膜の健康を保つ働きがあり、風邪予防や疲労回復にも役立ちます。鉄の吸収を助けるため貧血予防にも有効です。ビタミンCは水溶性なので、洗ってからヘタを取り除いた方がビタミンCを逃がさず摂取できます。

いちごに含まれる栄養素

「医療の窓」で、他にもお役立ち情報を発信中!



監修：栄養部

【ポリフェノール (アントシアニン)】いちごの赤い色素成分であるアントシアニンは、抗酸化作用を持つポリフェノールの一種です。体内の酸化ストレスを抑え、健康維持に役立つとされています。目の疲れ軽減にも関与するといわれ、現代生活にうれしい成分です。

「カリウム」

いちごにはカリウムも含まれており、体内の余分なナトリウムの排泄を助けます。そのため、むくみの予防や血圧の管理に役立ちます。甘みがありながら比較的さっぱりしており、減塩を意識した食生活にも取り入れやすい果物です。

✓ ちょっと見直し!健康セルフチェック

(日々の生活の中でちょっと見直したい、健康のチェックリスト。是非ご自身に当てはめてチェックしてみてください。)



CKD(慢性腎臓病)は初期には自覚症状が乏しく、気づかないうちに進行する場合があります。日常の体調に注意し、健診を受診することが早期発見の第一歩です。尿検査に加え、血液検査(血清クレアチニン)も重要です。未受診であれば放置せず医療機関を受診することが大切です。

済生会新潟県中央基幹病院
病院長 腎・膠原病内科
岩淵洋一 先生

気になる症状のある方は、早めにかかりつけ医にご相談ください

CKD(慢性腎臓病)チェックリスト

- ☐ 健診でたんぱく尿を指摘された
- ☐ 血圧が高い
- ☐ 糖尿病がある
- ☐ むくみやすい
- ☐ 尿量・排尿回数の変化
- ☐ 家族に腎臓病の人がいる

当てはまる項目があれば、主治医に相談!



〈今月号の表紙の写真について〉

さあ、ここから新しいスタート。一人ひとりの力を合わせ、組織の力で県央地域の医療を支えます。責任と誇りを胸に互いを信じ、学び合い高め合いながら、地域に必要とされ、信頼される病院であるために。



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会新潟県央基幹病院

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番地1

TEL.0256-47-4700 FAX.0256-33-8808

<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>

病院のサイトには
右記二次元コードより
アクセスしてください

